

令和2年度 2月の補導活動

佐久市少年センター

- | | | |
|---|----------|------|
| 1 | 街頭補導実施回数 | 16回 |
| 2 | 従事補導委員数 | 74人 |
| 3 | 相談件数 | 0件 |
| 4 | 補導した少年数 | 0人 |
| 5 | 声かけ人数 | 249人 |



2月の補導日誌から

2月1日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 やまぼうし公園 → ねむのき公園 → 佐久平浅間児童館
→ 近津南公園 → 赤岩公会場 → 中佐都児童館

補導の様子

やまぼうし公園にて中学3年生女子2人が東屋の中で話しており、声かけをしたところ、中学で所属したクラブのことや高校入試前の少し不安な気持ちを話してくれた。佐久平浅間児童館に立ち寄ると、子どもたちが体育館の中で元気にドッジボールをしている様子が見られた。赤岩公会場駐車場では、帰宅途中の女子児童2人が地面に座って話し込んでいた。学校の様子も聞いたりしながら、明るい時間の帰宅を促すと、素直に家路に向かった。中佐都児童館では、子どもたちに数種類の遊びをローテーションさせ、時間を区切って体験をさせていた。

2月2日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 青沼児童館 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園

補導の様子

青沼児童館での利用児童数は先月下旬から大きな変化はなく、毎日20人ほどが利用していると伺った。「子ども同士で関係を結ぶことがやや困難な子どもには、子どものよいところを伸ばしたい、褒めたい」という観点を伺った。玄関先で、「平賀から孫を迎えに来ました」という年配の方は、「夜、親に引き継ぐ」と話され、家族間の温かい気持ちを感じた。原公園には8人ほどがおり、そのうち、東屋で学習していた5人の中学3年生の男女と会話ができた。宿題等に目をやりながら、高校入試を控えた気持ちと高校入学後のクラブ活動への抱負等を話してくれた。鞆の中から達筆な書を見せてもらい、寒風の中でも「寒くないよ」という言葉に元気をもらった。

2月3日（水）

専門補導委員 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 曾根公園 → 仙祿湖公園 → アミューズメント施設 → 学童保育

補導の様子

大型ゲームセンターでは、老若男女がかなりの混み具合であった。高校3年生は自宅研修に入っているが、中・高校生の姿は見られなかった。ネットカフ

ェも感染レベルに左右されることなく、人の出入りがあるとのこと。また、中・高校生は訪れないとのこと。仙祿湖公園では、親子連れが3人でキャッチボールを楽しんでいた。アミューズメント施設のゲームコーナーでは、「保護者が見当たらない子どもには声かけをし、保護者には、子どもだけ置いてどこかへ行くことは認めておりません」と説明していると話してくれました。ありがたいことだと感じました。学童保育では、現在20人ほどの登録で、男女比は1:4とのことでした。出てきた児童3人が、「学童は楽しいよ」と元気にあいさつをしてくれました。保護者運営が主体の学童保育で、家庭的な雰囲気大切に運営されているそうです。

2月4日(木)

学校訪問(望月小学校)

専門補導委員 記

概要

教頭・生徒指導主任の先生に correspond いただきました。学校目標は『かしこく やさしく たくましく』。本年の重点は3つの宝(①あいさつ②うんどう③もちっこタイム)で、①あいさつ=更にあいさつができるようにしよう②うんどう=進んで体を動かそう③もちっこタイム=望月小の特色ある活動(例えば、児童が創意工夫協力して森の中に遊び場を作るなどの探究的授業により教科書にないことを学ぶ)とのことでした。

児童は、コロナ禍の影響を受けていると思うが、教職員は、「できることをできるだけやろう」と団結し取り組んでいるとのこと。地域探検・社会見学・遠足・修学旅行も行き先の変更等をして実施できたそうです。地域を挙げて子どもたちを育てていこうという風潮が地域に根付いており『もちっこ応援団』約20団体・100人超のボランティアに支援していただき、ありがたいとのことでした。

2月5日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 鼻顔公園 → 平根児童館 → 東児童館 → 駒場公園周辺

補導の様子

鼻顔公園では、遊具で遊ぶ親子連れや自主トレに励む若者の姿が5人ほど見られた。平根児童館では、10人ほどの児童が庭の砂場を思い思いに掘り返し夢中で遊んでいた。声をかけると「トンネルをつくっているの」と元気に答えてくれた。「天気の良い日は外で遊んだほうがいいので、どこを掘り返してもうさいいことを言わずに好きなようにさせています」と館長さんが顔をほころばせて話してくださった。東児童館では、玄関の飾り物が時々変わるので、それを尋ねたところ、「指導員さんが子どもたちと一緒に人気アニメのキャラクターを作ってくれる。また、子どもたちが喜ぶならと高校生が自作のぬり絵を届けてくれ、それに子どもたちが色を付けて飾っている」そうです。工夫して子どもたちの過ごしやすい空間づくりをしていると感じました。



2月8日(月)

1班(N・M記)

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ バッティングセンター → 仙祿湖公園 → アミューズメント施設

補導の様子

冬の寒さがまだまだ残る日でした。コロナ禍のためか、各施設、公園等どちら
も人の姿はまばらでした。大型ゲームセンターにて高校3年生2人に声をかけ
ると、自宅研修期間ということでした。友人と楽しめるのもあとわずかで、よ
い思い出をつくって欲しいと願っています。大型ゲームセンターの方にお話を
聞くと、「以前より子どもは少ない」ということでした。「店としては、子ども
たちを見守り、健全に遊べるように気を配っている」と伺うことができ、と
ても安心感をえました。地域全体の子どもたちを見守る大人の目の積み重ねが、
子どもの健全育成につながっているのではないかと感じました。

2月9日(火)

9班(S・M記)

巡回経路 野沢会館 → 県民佐久運動広場 → 野沢児童館 → 中嶋公園
→ 原公園 → 野沢会館

補導の様子

コロナ自粛の為、今日は久しぶりの補導でした。野沢会館では、自習室で男
子生徒が静かに勉強していました。野沢児童館では、40人ほどの児童が来館し
ていました。そのうち10人程の児童は、外で遊んでおり、中ではコロナ対策で
離れた机で学習している児童、また広場で楽しそうに遊んでいる児童、様々で
した。中嶋公園では、男子中学生が遊びに来た様子でしたが友達がいないので
すぐに帰ってしまいました。原公園では、3組の親子が遊んでいました。時節
柄、寒さとコロナウイルス防止の影響か遊んでいる児童を見かけませんでした。

2月10日(水)

13班(K・H記)

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育

補導の様子

成知公園では学校帰りの女子児童4人がすべり台で遊んでいました。また、
男子児童7~8人が東屋の中で楽しそうにゲーム機で遊んでいました。中込児
童館では、寒いので外で遊んでいる子どもは少なく、部屋の中で学校の宿題を
すませて帰るとのことでした。館長さんから「利用児童は40人
前後」とのお話を伺いました。学童保育では、おやつ時間で
部屋の中でおやつを食べていました。利用児童は19人と
のことで少ないとのことでした。地区内を巡回してみて特に問題はあ
りませんでした。



2月12日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 若宮公園 → ミレニアムパーク → 赤岩公会場 → 自動車学校
→ 八幡神社

補導の様子

若宮公園では、見守り隊の方が児童の下校時刻に併せて街頭活動を行っていた
のであいさつを交わした。ミレニアムパークでは、二十歳前後の若者がスケ
ートボードを楽しんでいる姿が見られた。赤岩公会場では下校帰りの子どもたち
がよく遊んでいるので立ち寄ったが、今日はいなかった。自動車学校では、校
長先生から教習に来ている高校生の様子等をうかがった。皆まじめな様子で粗
野な態度や隠れてタバコを吸うなどの行為は全くないとのこと安心した。

2月15日（月）

3班（K・W記）

巡回経路 岩村田児童館 → 学童保育

補導の様子

岩村田児童館は、30人くらいの児童が利用しているとのこと。また、来館後には宿題をしている子どもが多いとの話を館長さんから伺いました。学童保育の建物に向かう途中、岩村田小学校の下校時間と重なり、集団下校の様子が見られました。みな列を守り、気持ちのよいあいさつをしてくれました。学童保育には9人の学童が利用しており、女子の利用が多いとのことでした。佐久平浅間小学校の児童は、学童保育の運営者が契約しているタクシーにて来館するとのことでした。

2月15日（月）

17班（I・K記）

巡回経路 あいとぴあ → 田口児童館 → 青沼児童館 → 下越児童館
→ 臼田駅 → あいとぴあ

補導の様子

コロナ感染症拡大防止のため、1か月ぶりの巡回補導活動が実施されました。田口児童館には20人弱、青沼児童館には1～2年生12人が利用していました。久しぶりに下越児童館を巡回しました。田口小の児童10人弱が利用しているという説明をしていただきました。どこの児童館も以前と比べて利用者が減少しているようでした。アルコール消毒や室内の換気や『密』に十分気を使っていることが確認できほっとしました。子どもたちは、行き合うたびに元気にあいさつをしてくれて、とても気持ち良かったです。



2月16日（火）

10班（S・S記）

巡回経路 野沢会館 → 県民佐久運動広場 → 野沢南高前 → 野沢児童館
→ 中嶋公園 → 原公園 → 十二町公民館 → 野沢会館

補導の様子

風が強く寒い巡回日であった。県民佐久運動広場は野沢会館改修工事で車等の駐車場として利用されていた。野沢児童館は45人が利用。ほとんどが低学年であった。高学年は学校行事のためこれから来るとのこと。コロナ禍で例年より少ない利用が続いていると話していました。中嶋公園は強風で利用者は0人。原公園では親子6人が利用。小学1年生の男の子が、妹を迎えに行った帰りにお母さんをお願いして来園した話をして、元気よくジャングルジムの頂上へと向かう。原公園は、冬でもトイレが利用できて安心との親の声を聞きました。十二町公民館では小学生が3人でサッカーをしていたが、狭い場所なので注意するよう声をかけました。

2月17日（水）

4班（Y・A記）

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平駅前交番
→ 佐久平駅 → 大型スーパー店内2階ゲームコーナー

補導の様子

ミレニウムパークのプレイサークルでは高校3年生2人がバスケットを楽しんでおり、気持ちよいあいさつがあり、卒業後のことも話してくれました。今回の巡回では佐久平駅前交番でお話を伺うことができました。佐久平駅2階の休

憩スペースでは2人の高校生が勉強しており、大型スーパーのフードコートでは30人ほどの高校生が勉強する姿が見られました。コロナ禍の受験で大変な時期ですが、3月には笑顔で卒業式が迎えらることを願っています。

2月18日(木) 学校訪問(浅科小学校) 19班(T・H記)

概要

校長・教頭・生徒指導主任の先生方から教育方針、児童の様子などを聞かせていただきました。「賢(かしこく)優(やさしく)健(たくましく)」を目指す子どもの姿として取り組んでいるとのこと。コロナ禍で学校行事が計画通りできなかったようですが、実施にあたっては、皆で感染防止対策を工夫しながら進めているとのこと。クラブ活動なども新しいクラブ活動の形にして頑張っているようです。児童の様子では、SNS・ゲーム等の問題についての心配があり、学校と家庭で一層の情報共有と対応の必要性を感じました。

2月19日(金) 専門補導員 記

巡回経路 横町公園 → 水上公園 → 平賀新町公園 → 佐久城山児童館
→ 佐久総合運動公園

補導の様子

時間が少し早かったせいか、横町公園、水上公園には人影は見られなかった。平賀新町公園では、6人ほどの子どもが遊具で遊んでおり、保護者がベンチで子どもを見守りながら本を読んでいる姿が見られた。佐久城山児童館では、中学3年生の女子生徒2人がちょうど児童館から出てきたところで、「時折児童館に顔を出し、児童と一緒に遊んだりしている」と話してくれた。2人ともはきはきとした口調で将来の夢についても話してくれた。児童館は賑わっていて広場で元気にとび回る児童の姿が見られた。近寄ってきた小2の児童が名札を見て、「さくしきょういくいいんかい」と読むのを褒めるとうれしそうな笑顔を返してくれた。



2月22日(月) 5班(K・T記)

巡回経路 大型ゲームセンター → アミューズメント施設(ゲームコーナー・映画館・カラオケ・パチンコ&スロット)

補導の様子

大型ゲームセンターとアミューズメント施設を中心に巡回した。高校生によっては卒業前で自宅研修中の場合もあると思われたが、コロナ禍の中でほとんど生徒には出会わず、社会人がほとんどでした。アミューズメント施設の休憩所で中学生2人を見かけて声かけをしました。映画館やカラオケコーナーも閑散としていました。

2月24日(水) 11班(A・T記)

巡回経路 野沢会館 → 東田公園 → 取出町ふれあい公園 → パチンコ店
→ 大沢体育館 → 泉団地周辺道路 → 泉児童館 → 安土倍神社

補導の様子

野沢会館の自習室には密を避け、高校生20人ほどがおりました。2か所の公園には人影はありませんでした。パチンコ店は18歳未満入場禁止のステッカー

があり、応接してくれた店長は「年配者が多く、衛生環境に十分注意している」とのことでした。泉児童館には35人が来館しているが、例年より20人ほど少ないとのこと。宿題をすませて元気に遊ぶ子どもたちを見るとほっとしました。

2月25日(木)

6班(S・N記)

巡回経路 浅間会館 → 龍雲寺 → 枇杷坂公園 → 岩村田駅 → 西念寺
→ 中央公園

補導の様子

段々暖かくなりつつありますが、公園やお寺には人影は全くありませんでした。岩村田駅では5～6人の中学生が話をしていたので声をかけました。中学3年生で今年度高校受験とのこと、「頑張ってください」と言うと「ありがとうございます。」と返事をしてくれました。

2月25日(木)

18班(K・T記)

巡回経路 下の宮児童公園 → 稲荷山公園 → 臼田図書館 → 臼田児童館

補導の様子

下の宮児童公園では、3年生の児童4人が遊んでいた。人なつこく、あいさつをするとすぐに気持ちのよいあいさつが返ってきた。担任の先生や給食の話などを楽しく話してくれた。臼田児童館では、20人ほどの子どもたちが外でサッカーや砂あそび、縄とびをして遊んでいた。女子児童7～8人がまるく輪になって、歌ったり踊ったりしながら遊んでいた。懐かしい光景だった。臼田図書館では、コロナ禍であるが本の貸し借りは多いとのこと。安心した。

2月26日(金)

15班(Y・M記)

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → 中込児童館 → 学童保育 → 中込駅

補導の様子

コロナウイルスの感染防止で、1月の学校訪問も専門補導委員のみとなったため、2か月ぶりの街頭補導となった。寒かったため、公園で遊ぶ子どもは誰もいなかった。下校時に行きあう子どもたちもコロナ禍であいさつも元気がないように感じた。学童保育を訪問したら、3月いっぱいまで移転することになったとのこと。移転先も古民家をリフォームし、保護者の奉仕作業で資金の少ないなか、工夫しているとのことだった。



＜2月の補導を終わって。 専門補導委員＞

- ・学校一斉休校要請から1年経ちました：

学校訪問を通して教科の学習内容はほぼ回復してきたと伺いました。子どもたちが頑張った背後には保護者の支えと学校関係者のたゆまぬ工夫と努力があったことと思います。一方、行事等の開催は現在の事情からやむを得ない制限があり、我慢をせざるを得ない時を過ごして切なかった気持ちを子どもたちから聞きました。

- ・「子どもの姿が見えない」：

多くの補導委員さんから伺う言葉です。三寒四温の季節の中で様々な所で思いっきり遊んでいる子どもの姿に、ほっとして癒されている昨今の補導活動です。